

54th FRP CON-EX 2009 講演会

講演・参考展示募集

(第54回 FRP総合講演会・参考展示会)

本年度54回目を数えます当協会の主催事業 ^{エフアールピー} FRP ^{コネックス} CON-EX(総合講演会・参考展示会)は日本大学駿河台校舎で開催します。

今回の開催地付近はその昔、駿府から江戸に移住した徳川家康の家臣が居を構えていたと言われ、それが駿河台の地名の由来と伝えられています。最寄にはご存知 日本三大祭り神田祭で有名な神田明神も鎮座、江戸総鎮守に相応しい伝統文化を今に見ることができます。とりわけ神田祭は誇り高き氏子中によって守り伝えられ今日に至っています。それは江戸の伝統を大切に守りながらも新しい文化を常に取り入れ発展してきた結果だそうです。

経済情勢はじめ本事業を取り巻く環境は誠に厳しい側面があります。創意工夫とこの神田祭りに肖りながら盛大裡に開催したくここにご案内申し上げる次第です。本年も会員各位はじめより多くの関係者のご理解、ご協力の程何卒よろしくご願ひ申し上げます。

今回も昨年同様、参考展示付の講演会として企画いたします。講演発表内容に関する参考展示はもとより展示のみのご参加も募集しております。どうぞこの機会をお見逃し無く奮ってご応募ください。

つきましては、一般講演・参考展示について裏面の申し込み要項に従い、会員各位をはじめ大勢の皆様からのご応募を心よりお待ちしております。因みに講演内容はFRPに関する技術的なものから、経営・市場など、もしくはユーザーを啓蒙する教育的なものなど、幅広い内容をと考えています。この機会により多くの情報がいろいろな分野から発表されることを希望しています。

尚、本会は特許法に基づく学術団体の指定を受けており、発表の日から6ヶ月以内については発表者の工業所有権の優先権が保護され、特許出願ができるようになっております。従いまして従来にも増してオリジナリティのある講演を期待しています。

また、この度の講演会で発表される論文及び報告のうち独創的で学術上及び技術上価値があり、将来性・発展性があると思われるものに論文賞が授与されます。論文賞の受賞者は第一著者が40歳未満の場合で、申請があった業績のみが選考の対象になり第一著者のみに授与することになりました。講演部門のハイライトでもあるこの《論文賞》にも奮ってご応募下さい。

主 催 社団法人 強化プラスチック協会
協 賛 関連学・協会
会 期 平成21年10月27日(火)～28日(水)
会 場 日本大学 理工学部 駿河台校舎 1号館
東京都千代田区神田駿河台1-8-14

交通 最寄駅
新御茶ノ水駅(東京メトロ千代田線) 直線距離 0.2km /
小川町駅(東京都営新宿線) 0.4km /
淡路町駅(東京メトロ丸ノ内線) 0.5km /
御茶ノ水駅(JR 中央本線ほか) 0.5km /
神保町駅(東京都営三田線ほか) 0.6km /

開催記念懇親会

平成21年10月27日(火) 夕刻より

講演部門

- 協会活動報告 (委員会報告、部会報告、その他)
- 経営 (FRP産業経営のあり方、今後の方向等についての提言および考察)
- 開発 (市場開発等についての事例、提言および考察)
- 環境 (公害、労働安全衛生、廃棄物処理・リサイクル等)
- 原材料 (FRP工業に関係ある原料、成形材料、その他)
- 構造 (設計、試験法、成型品の性質、その他)
- 成形加工法 (成形法、加工法、接着法、塗装法、修理法、成形機械、加工機械、成型型、その他)
- 品質管理 (QC、TQC、FA、その他)
- 応用 (建設資材、住宅機材、舟艇船舶、自動車車両、タンク容器、工業機材、雑貨、その他に対する応用例または応用についての考察)
- 製品紹介 (自社製品についての紹介、外国製品についての紹介、考察、その他)
- 調査 (上記部門における市場調査、分析、将来性)
- その他

講演・参考展示申込要項

- ① 応募資格 原則として会員に限ります。(官公庁、大学等の中立機関はこの限りではありません)
- ② 費用 講演発表一件につき20,000円(内訳7,500円…要旨集代、2,500円…入場料:会期二日間有効、10,000円…協賛金)
ただし、以下の場合は協賛金が不要です。
中立機関(学・官等、公的試験・研究機関等)による発表、[業界側との共同研究の場合も含む]また学生による発表の場合は一切無料(入場券、要旨集代、協賛金不要)
参考展示のみの参加
20,000円(入場料 2,500円/枚……8枚分)
- ③ 講演・参考展示申込 規程の申込書(両面あるので充分ご注意ください)の所定欄にそれぞれ記入の上、お申込み下さい。尚、講演題目、発表者(連名者を含む)、所属は和、英両文でご記入下さい。また、申込ご発表の中より、優れた講演には論文賞を授与します。この「論文賞」には中立機関はもちろん産業界からの発表にも期待しておりますので、奮って御応募下さい。なお、論文審査は講演要旨で行います。
プログラム編成の際参考資料にしますので申込書の裏面に講演概要を100字以内でご記入下さい。また、発表内容に関する参考展示(無料)ご希望の有無をお聞かせ下さい。
- ④ 申込講演の採否等 お申込講演の採否、講演部門の変更、講演日時の割当、講演時間等一切の調整はすべて実行委員会に一任願います。
- ⑤ 講演要旨 講演要旨のご執筆は、原則としてワープロ打ちとします。
A4縦、白紙に2段横書で打出して下さい。
執筆枚数は2枚、但し、論文賞応募者は3枚以内とします。
講演題目、発表者(連名者含む)は、所属は和英両文でご記入下さい。また英文アブストラクトは、50語以内でお願いします。他執筆様式詳細は、お申込み後に見本紙を送付しますのでご参照下さい。
- ⑥ 講演内容 既発表でも差し支えありません。製品化の成功談や失敗談、FRP企業経営上の経験談など、どんな些細な問題でも参加者に示唆を与えるものなら歓迎します。
また、講演としての形式にこだわらず、“発表”“報告”というような軽くお話いただけるものでも結構です。
- ⑦ 講演時間 15分程度を基本に設定させて頂く予定ですが、具体的には実行委員会にお任せ下さい。
- ⑧ 講演部門 申込書に必ず上記講演の希望部門を記入して下さい。
- ⑨ 講演申込締切 平成21年7月31日(金)(締切日厳守)
- ⑩ 講演要旨締切 論文賞応募者 平成21年8月31日(月)(締切日厳守)
上記応募者以外 平成21年10月5日(月)(”)
- ⑪ 講演申込先 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-2-8 日誠ビル3階
要旨送付先 電話 03(5812)3370(代) Eメール hdqtr@jrps.or.jp